「住みたい!住み続けたい!青梅市」を実現するための主な取組案

- ・年をとって住みたくなるまち: 高齢者の得意技を集約→芸を仲介
- 自分のフィールドと思えるまち:看板修復体験→自分の作ったものがまちにあり、愛着が湧く
- ・新しい人を受け入れるまち: 共同家庭菜園の設置、市内イベントの周知



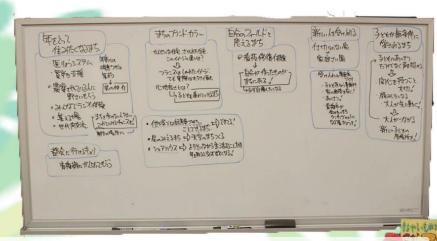












話合われた内容については、山口さんがホワイトボードにまとめてくださいました。 このぷらっとフォーム推進ワークショップは「出会いの場」であり、参加者各々の「気づきの場」であり、新たな"何か"が「生まれる場」でもあります。

「住みたい!住み続けたい!青梅市」とはどんな市なのか、たくさんのヒントが生まれました。 ※今回のワークショップをヒントに動き出した事業等があれば、お知らせください。HPに掲載させていただきます!